



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2006年（平成18年）12月5日号 No. 1382

目次

■ウズベキスタンにおける外国企業の活動状況 中居 孝文 1
■トピックス 11
モスクワの日本商工会の会員数が148社に／11	
三井物産がモスクワで倉庫事業開始へ／11	
■エトセラ 11
ロシアITセミナーのご案内／11	
■ロシアNIS貿易会関連の行事予定 12
■ロシア・NIS諸国通貨の為替レート 12

ウズベキスタンにおける外国企業の活動状況

はじめに

11月1日、タシケントにおいて日本の経済産業省とウズベキスタン対外経済関係省等主催の「日本ウズベキスタン・ビジネスフォーラム」が開催され、日本側からは政府・企業関係者あわせて約30名が参加した。

同フォーラムでは、ウズベキスタン側から①同国は1996年に経済が成長に転じ、とくに過去3年間に7%を上回る経済成長を記録している、②こうした経済の安定化を背景として外国投資も増加しており、外国企業による直接投資は過去3年間に50億ドルを上回った、③外国投資家に対しては税制面等で様々な優遇措置が設けられており、投資家の権利は法律で十分に保障されている、④対外債務の返済が順調なため金融面でのリスクはない、またカリモフ大統領のもとで独立以来の安定を享受しており、政治リスクとも無縁であるといった主旨の報告が行われた。

貿易・投資の促進が目的の会議なので、ポジティブな側面が強調されるのは致し方ない。しかし、はたして実情はどうかという疑問が残る。そこで本号では、ウズベキスタンにおける外国投資の現状と外国企業の活動状況をいま一度検証してみることにした。